各国の温室効果ガス削減目標

	中期目標	長期目標
日本	2030年度に▲46% (2013年度比)、 50%の高みに向けて挑戦を続ける	2050年排出実質ゼロ ※2020年10月26日、臨時国会の所信表明演説で菅前総理が表明
米国	2030年に▲50-52% (2005年比) ※2013年比▲45-47%相当	2050年排出実質ゼロ
英国	2030年に少なくとも▲68% (1990年比) ※2013年比▲55%相当 2035年までに▲78% (1990年比) ※2013年比▲69%相当	2050年少なくとも▲100% (1990年比) ※一定の前提を置いた3つのシナリオを提示
EU (仏・伊)	2030年に少なくとも ▲ 55% (1990年比) ※欧州理事会 (2020年12月10·11日) 合意 ※2013年比▲44%相当	2050年排出実質ゼロ ※複数の前提を置いた8つのシナリオを分析
独	2030年に▲65% (1990年比) ※2013年比▲54%相当 2040年に▲88% (1990年比) ※2013年比▲84%相当	2045年排出実質ゼロ
加	2030年までに▲40-45% (2005年比) ※2013年比▲39-44%相当	2050年排出実質ゼロ ※2020年11月、関連法案を国会に提出
中国	2030年までに排出量を削減に転じさせる、 GDP当たりCO2排出量を▲65%超(2005年比) ※2020年の国連総会、気候野心サミットで習主席が表明	2060年CO2排出実質ゼロ ※2020年9月の国連総会で習主席が表明
サウジアラビア	2030年に▲2.78億トン (2019年比)	2060年CO2排出実質ゼロ ※2021年11月サウジ・グリーン・イニシアティブ(SGI)において発表
UAE	2030年に▲23.5% (BAU比)	2050年排出実質ゼロ

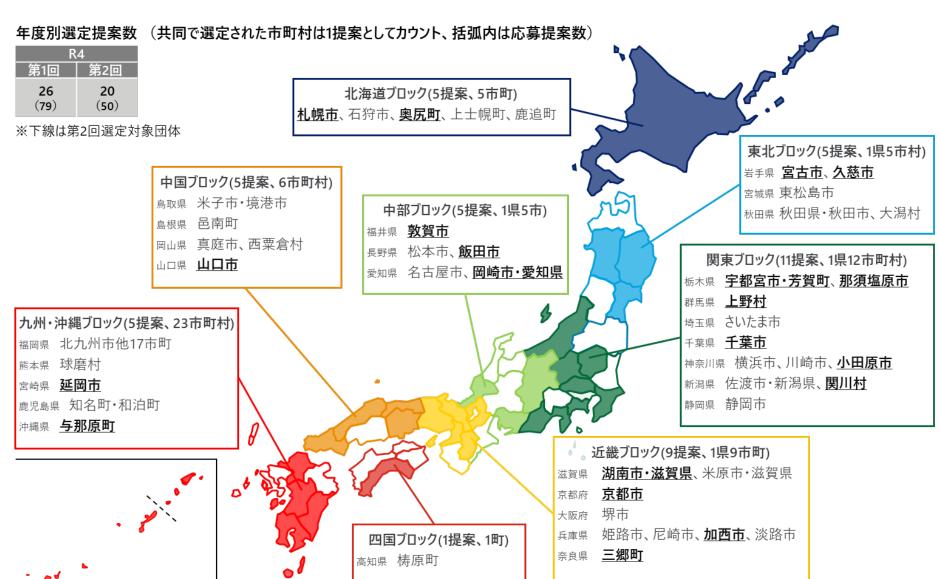
電気自動車・プラグインハイブリッド自動車導入状況

(新車販売に占める比率)

	導入状況※			政策動向
	2019年	2020年	2021年	
ノルウェー	55.9%	74.7%	86.2%	2025年までにガソリン車とディーゼル車の販売禁止
中国	4.6%	5.3%	16.0%	「新エネルギー車(NEV)産業発展計画」を発表し、2035年 までにEV等を新車販売の主流にする方針
ドイツ	2.9%	13.5%	26.0%	2030年までにガソリン車とディーゼル車の販売禁止
イギリス	3.1%	11.2%	19.0%	2030年までにガソリン車とディーゼル車の販売禁止 (CO2を排出せずに相当の距離を走行するHVについては2035 年までの販売を認める。)
フランス	2.8%	11.3%	18.9%	2040年までにガソリン車とディーゼル車の販売禁止
米国	2.1%	2.2%	4.6%	2030年までに新車販売に占める電動車(EV,PHEV,FCV)の比率を50%とする目標(大統領令) 2035年までにガソリン車とディーゼル車の販売禁止(カリフォルニア州)
日本	0.7%	0.6%	1.0%	2035年までに新車販売で電動車100%を実現することを表明 (2021年1月18日に衆議院本会議で表明) 商用車(8トン以下)については2030年までに電動車20~ 30%目標(グリーン成長戦略で設定)

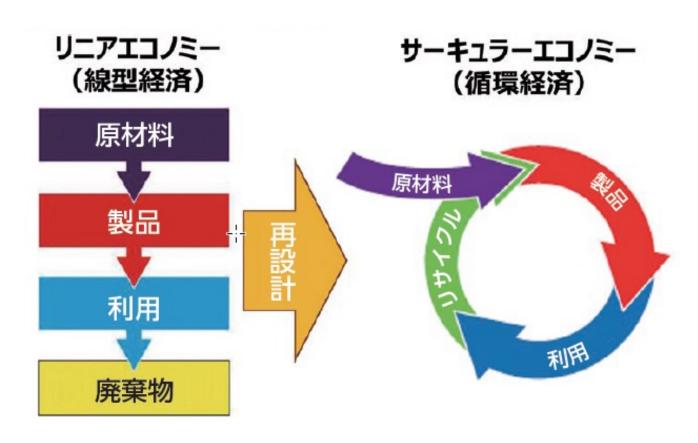
2030年度までに少なくとも 100か所の「脱炭素先行地域」 → 脱炭素ドミノ

これまで全国29道府県66市町村の46提案が選定。第3回募集中(~2月17日)



サーキュラーエコノミー(捨てない経済)

- 市場規模 約500兆円との試算
- 気候変動対策と表裏一体 (エネルギーを循環、モノを循環)



資料:オランダ「A Circular Economy in the Netherlands by 2050 -Government-wide Program for a Circular Economy」(2016) より環境省作成

日本の年間食口ス量

国連世界食糧 計画による 年間食糧支援

522万小

420万小

海洋プラスチック汚染

> 【Jambeck論**文等での推計に用いられた仮定**】 ●プラスチックの生産量が、毎年5%増加すると仮定



G20大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

● 生産量(2015年は3.22億トン)の約3%が海に流出と仮定

「社会にとってのプラスチックの重要な役割を認識しつつ、・・・包括的なライフサイクルアプローチを通じて、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指す。」

